

ロタウイルス感染症予防接種のお知らせ

<ロタウイルス感染症とは>

ロタウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、乳幼児のうちにほとんどの乳幼児が感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で改善しますが、下痢、嘔吐が激しくなると、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、最も多い感染症です。初めてロタウイルスに感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあり、注意が必要です。

<ロタウイルスワクチンについて>

ロタリックス(経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン)とロタテック(5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン)の2種類のワクチンがあり、どちらも生ワクチンで、飲むワクチンです。2種類とも予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。特別な事情がない限り、途中で種類の変更はできませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。どちらのワクチンも、ロタウイルスによる胃腸炎の発症そのものを7~8割減らし、入院するような重症化の大半を予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

<接種後の副反応>

両ワクチンともに、主な副反応は下痢で、その他に嘔吐、咳、発熱、易刺激性(ぐずり)などがみられます。

1 持参するもの

ロタウイルス感染症予防接種予診票(松戸市交付) 予防接種番号
母子健康手帳 健康保険証など住所が確認できるもの 子ども医療費助成受給券
 ★「予診票(無料券)」に必要事項を記入する際は、ボールペンを使用してください

2 接種時期、回数、間隔、注意点

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生6週0日から24週0日まで	出生6週0日から32週0日まで
	※両ワクチンとも、出生15週0日以降の初回接種については、腸重積症のリスクが高まることから、出生14週6日までに初回接種を完了させることが望ましいとされています。	
接種回数、間隔	2回接種(27日以上の間隔をあける)	3回接種(27日以上の間隔をあける)
接種後、特に注意すること	両ワクチンとも、接種後は腸重積症(後述)の症状に注意し、症状が見られた際には、すみやかに医療機関を受診してください。	

※ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりした場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませので、再度接種する必要はありません。

3 接種方法

- ・松戸市と契約をしている医療機関で受ける個別接種です。(別紙医療機関一覧表参照)
- ・契約している医療機関以外では「予診票(無料券)」は使用できません。
- ・転出等で松戸市に住民登録がない場合は、松戸市発行の「予診票(無料券)」は使用できません。

4 受けることができない人

- (1)明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある人
- (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人(下痢や嘔吐の症状があるときは延期してください)
- (3)本剤の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人

アナフィラキシーというのは通常約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるようなはげしい全身反応のことです。

- (4) 腸重積症を起こしたことがある人
- (5) 先天性消化管障害を有する人(その治療が完了した人を除く)
- (6) 重症複合型免疫不全(SCID)がある人
- (7) その他、医師が不適当な状態と判断した場合

5 受ける前に医師とよく相談しなくてはならない人

★下記に該当する人はかかりつけの医師と相談し、必要に応じて「**診断書または意見書**」をもらってから接種に行きましょう。

- (1) 心臓病・腎臓病・肝臓病・血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- (2) 前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- (3) 今までにけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
- (4) 免疫状態に異常のある疾患のある人及びそのおそれのある人、又、近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- (5) 胃腸障害(活動性胃腸疾患、慢性下痢)がある人
- (6) 麻しん(はしか)は治ってから4週間、風しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどは治ってから2～4週間経過していない人、いずれの場合も一般状態を主治医が判断し、決定します

【接種後の注意】

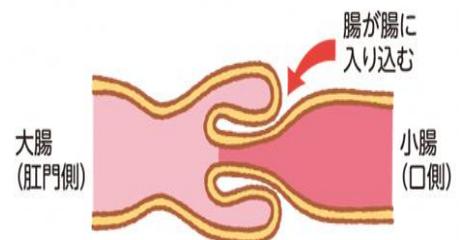
- (1) 予防接種を受けた後30分間は重いアレルギー症状(ひどいじんましん・嘔吐・息苦しさ等)が起こることもありますので安静にし、医療機関でお子様の様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- (2) ワクチン接種後1週間～10日程度はウイルスが便中に排出されます。おむつ交換など、ワクチン接種を受けたお子様と接した際には、手洗いをするなど注意してください。
- (3) 腸重積と思われる症状がある場合は、速やかに医師の診察をうけるようにしてください。

◎腸重積症について

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです(右図)。ロタウイルスワクチンを接種していなくても、生後3～4か月頃から月齢が上がるにつれて多くなりますので、ワクチンによる腸重積との紛れ込みが懸念されます。早めに接種を開始し、早期に接種を完了させましょう。

以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる



- (4) 接種当日の入浴は差し支えありません。

6 予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

◎何か気になる症状が出た場合は、医師の診察を受けてください。